

# 令和7年度病院勤務医の負担軽減及び処遇の改善に資する計画

項目	担当部署	具体的な取組内容	評価（実績）
1. 医師の負担軽減の取組			
(1) 医師との業務分担	看護部 (看護師・助産師)	①特定行為実績件数の増（12月時点で前年比110%）	未達成 前年比61% 342件 退職者2名あり、実績件数減
		②特定行為研修新規受講者2名以上	達成 新規受講者5名
		③所属単位でのプロトコール運用開始 (救命救急センター以外)	未達成 必要性が低く、進捗なし
		④外来での侵襲を伴う検査（内視鏡検査等）の説明	達成 下部内視鏡検査前の説明に動画を導入
		⑤上記以外の医師の代行業務	達成 ・ICUにおけるAライン抜去および医師同伴なし退室 ・胸腔ドレーンバック交換、挿入処置（6西）
	薬剤部 (薬剤師)	①病棟薬剤師によるインスリン関連指導 インスリン自己注射指導：対前年度比30%増 血糖自己測定（SMBG）指導：対前年度比30%増 シックデイ対策指導：対前年度比30%増	未達成 インスリン自己注射指導：61件（対前年度比-14%） 血糖自己測定（SMBG）指導：57件（対前年度比-27%） シックデイ対策指導：47件（対前年度比-28%）
		②薬剤師による処方および検査提案と代行人力 新たな代行人力プロトコールの作成	達成 TDM代行人力プロトコール作成（救命救急センター）
		③外来化学療法センターでの処方支援及び処方代行人力 前投薬の処方入力支援とペリリンピックの入力支援250件以上	達成見込み 1月末現在、217件
		④病棟薬剤師による定期処方入力支援の継続と件数増 定期処方代行人力1000件以上	達成見込み 1月末現在、970件
	放射線部 (放射線技師)	①NICUの新生児ポータブル撮影 状態が安定している患者のポータブル撮影	達成
		②緊急MRI撮影 バイタルが安定している患者の撮影	達成 主治医同伴なしで撮影を実施
		③核医学検査の骨シンチに係る薬剤注入	達成
		④核医学検査の安静心筋シンチに係る薬剤注入	未実施 核医学室移動に伴う負担増のため
		⑤手術室の透視装置の操作および術後X線撮影 新規3名以上の育成を行う	達成
		⑥造影MRIの造影剤注入	達成 全例対応
	検査部 (臨床検査技師)	①生理学的検査時の口腔内からの喀痰等の吸引 育休復職者3名の教育（目標期限：6月）	達成（4月）
		②検査に係る薬剤の服用 担当者4名→6名（目標期限：10月）	達成（12月）
		③肝炎ウイルス陽性患者の抽出及び専門外来への受診勧奨 担当者4名→5名（目標期限：9月）	達成見込
		④糖尿内科のCGM（持続グルコース）業務 (1) 福島県糖尿病療養指導士受験 合格者9名→10名（試験：10月） (2) 合格者の実務教育（目標期限：9月）	(1) 達成（12月） (2) 達成（12月）
		⑤造影超音波検査に係る静脈路確保及び超音波造影剤注入 (1) 腹部造影剤注入担当4名→5名 (2) 静脈路確保担当2名→4名 (3) 心臓造影剤注入担当5名→7名 (目標期限：10月、依頼全件対応)	(1) 達成見込 (2) 一部未達成（3名） (3) 一部未達成（6名） 依頼全件達成
		⑥術中誘発電位業務 担当者5名→6名に増員し、臨時OPも対応 (目標期限：2月、依頼全件対応)	達成見込 依頼全件達成
		⑦経食道心エコーのサポート 機器操作をサポートする技師の育成（2名） (目標期限：8月)	一部未達成 教育終了1名、教育中1名
		⑧神経伝導検査の実施 担当者1名→3名（開始目標期限：7月）	達成 5名
	内視鏡診療部 (臨床検査技師)	画像解析システムの操作および一次読影 ・カプセル内視鏡の一時読影（読影補助）を行う (年間約30件)	達成 全例対応（42件、令和7年4月から令和8年2月）
	輸血・移植免疫部 (臨床検査技師)	①血液製剤の分割に関する操作 ・血液製剤の分割操作を行う（目標：全例）	達成 全例対応（254件、令和7年4月から令和8年1月）
		②血液細胞（幹細胞等）の調製に関する操作 (1) 造血幹細胞移植に伴う末梢血造血幹細胞及び骨髄液の凍結操作を実施（目標：全例） (2) 造血幹細胞移植に伴う成分採血装置を用いた骨髄液の濃縮操作を実施（目標：全例） (3) 造血幹細胞移植後GVHDの治療に用いられるヒト体性幹細胞加工製品テムセルHS注の解凍・調製操作を実施（目標：全例）	(1) 全例実施 42件（令和7年4月から令和8年1月） (2) 全例実施 3件（令和7年4月から令和8年2月） (3) 全例実施 12件（令和7年4月から令和8年2月）
		③細胞調製操作、骨髄液濃縮操作担当技師の育成 (目標：年度内の教育終了)	達成 教育終了1名
		④輸血関連検査オーダーに係る代行人力 必要項目の代行人力	達成 2,571件（令和7年4月から令和8年2月）
病理部 (臨床検査技師)	①細胞診検査所見の記載 細胞診検査全症例、細胞検査士による所見記載	達成 全例対応 所見記入内容の制度が向上	
	②剖検業務の時間短縮と安全確保 ・解剖介助として2名を従事（目標4症例）	達成 解剖介助に2名従事（5症例） 時間短縮については、継続的に改善を実施	
臨床工学センター (臨床工学技士)	①透析患者の透析時のバスキュラーアクセスへの穿刺（目標：全例） ・穿刺ができる技士の育成（1名）	未達成 バスキュラーアクセスへの穿刺 99.3% 育成については、継続して教育を実施	
	②ICUの生命維持管理装置装着患者に係る夜勤帯の採血実施（目標：全例）	達成 全例対応	
	③人工呼吸器の設定変更に係る教育の実施	未達成 継続して教育を実施	
	④麻酔補助業務に係る教育の実施	達成 教育終了1名	

項目	担当部署	具体的な取組内容	評価（実績）
1. 医師の負担軽減の取組			
(1) 医師との業務分担	リハビリテーションセンター ・理学療法士 ・作業療法士 ・言語聴覚士	①リハビリテーションに関する各種書類の記載・説明・書類交付（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）	達成 全例対応
		②作業療法を実施するにあたっての運動・感覚・高次脳機能・ADLなどの評価	達成 全例対応
		③言語聴覚士による侵襲性を伴わない嚥下検査	達成 全例対応
		④言語聴覚士による嚥下訓練・摂食嚥下両方における嚥下状態等に応じた食物形態等の評価	達成 全例対応
		⑤言語聴覚士による高次脳機能障害・失語症・言語発達障害・発達障害等の評価に必要な臨床心理・神経心理学検査種目の実施等	達成 全例対応
		⑥身体障害者手帳申請のための診断書を記載する際の身体計測	達成 全例対応
		⑦廃用症候群の添付文書記載のためのADL評価を全例行う	達成 全例対応
		⑧リハを行う患者のリハ前診察予約の代行を全例行う	達成 全例対応
	眼科 (視能訓練士)	治験データの入力や医師の補助	達成 治験画像の提出やアップロード、眼鏡処方箋の作成補助
	患者サポートセンター	①紹介患者に係る紹介元医療機関への返書続報作成支援（全診療科） ・未作成患者に係る返書作成依頼（初報から3か月経過時に全診療科で100%達成）	計画のとおり実施 返書続報作成のタイミングを整理し、EXチャートを用いて全診療科の進捗管理を実施
		②他医療機関の外来診療予約取得（全診療科）の継続	計画のとおり実施
		③逆紹介推進 ・逆紹介の説明代行（「ふたり主治医制」の周知含む） ・90日以上院外処方みの患者抽出（令和7年5月、8月、11月、令和8年2月）	計画のとおり実施
(2) 交代制勤務の導入	病院管理課 病院人事係	①交代勤務制・複数主治医制の実施 ・救命救急センター及び集中治療部、NICUにおける交代勤務制の実施 ・複数主治医制の実施	計画のとおり実施
(3) 人員確保	病院管理課 病院人事係	①教職員定数の確保 ・緊急性・必要性等を検討し、定数増を県へ要求する	計画のとおり実施
		②育児・介護休業法第23条第1項、同条第3項又は同法第24条の規定による措置を活用した育児短時間勤務制度の実施	計画のとおり実施
(4) 女性医師支援のさらなる充実	総務課 大学人事係 男女共同参画支援室	①復職支援 ・ダイバーシティ推進室において個別相談支援（ライフイベントについての相談）	計画のとおり実施
		②医師ロールモデルの周知 ・新たな事例を収集し、取りまとめた事例の周知	計画のとおり実施 新たに4件HPへ追加掲載
		③育児・介護支援 ・福島県立医科大学託児所「すぎのこ園」 ・病院病後児保育所「すくすく」 ・育児サポート（ベビーシッター）助成事業 ・女性医師の産休等に伴う欠員補充の実施 ・ライフイベント（出産・育児・介護・看護等）により研究の確保が困難な教員に対して研究支援員を配置	計画のとおり実施 研究支援員の配置（上半期19名、下半期22名）
(5) 勤務環境の改善	病院管理課 病院人事係	医師の働き方改革に対応するため、引き続き、医師の勤務時間を把握していくとともに、医師の労働時間短縮に向けて勤務環境の改善の取組を実施	計画のとおり実施
(6) 医師事務作業補助者の導入	医事課 経営企画室	①全病棟配置	計画のとおり実施
		②業務状況の確認及び医師の代行可能な業務内容に係る評価	計画のとおり実施
		③代行入力業務の拡大 (1) 返書支援（R8.3までに3診療科追加） (2) 入院前支援（R8.3までに2診療科追加） (3) 外来業務支援（R8.3までに2診療科追加）	(1) 未達成（1診療科） (2) 達成（2診療科） (3) 達成（4診療科）
		④医師事務作業補助体制加算15対1に向けた体制の構築	達成 令和7年8月1日
(7) 外来縮小の取組	患者サポートセンター	①事前予約制 ・病診連携での一括予約継続 ・県内医療機関へ事前予約方法説明パンフレットの送付（令和7年7月） ・事前予約方法等の変更に伴うWebサイトの更新（他部署からの依頼：依頼当日中、当センターによる変更：決裁当日中）	計画のとおり実施
2. 処遇の改善について			
(1) 処遇について	病院管理課 病院人事係 経営企画室	①救急勤務医手当の支給 ②分娩手当の支給 ③新生児担当医手当の支給 ④指導医手当の支給 ⑤臨床研修医への住宅手当の支給 ⑥診療力向上推進事業 1) 継続 2) 福島医大KAIZENアワードの継続。インセンティブの在り方について検討。 ⑦臨床研修医への赴任旅費の支給 ⑧病院助手等に係る休暇制度の充実 ⑨臨床研修医に係る休暇制度の充実 ⑩新設した手当及び増額した手当の支給継続 ・緊急呼出手当の附加額（1日あたり1,760円） ・手術手当（1件あたり10,000円） ・麻酔管理手当（1日あたり5,000円） ・救急勤務医手当（上記1）に麻酔科を追加 ⑪臨床研修医の土日勤務、夜勤を含んだ勤務を可能にし、臨床研修医に対し、夜勤手当の支給継続。 ⑫臨床研修医へ期末・勤勉手当を支給	計画のとおり実施

# 令和8年度病院勤務医の負担軽減及び処遇の改善に資する計画

項目	担当部署	具体的な取組内容	評価時期
1. 医師の負担軽減の取組			
(1) 医師との業務分担	看護部 (看護師・助産師)	①特定行為実績件数の増(12月時点で前年比110%)	R8年度末(継続して実施)
		②特定行為研修新規受講者3名以上	R8年度末(一部改善して実施)
		③CV、PICC、ポートからのライン逆血採血	R8年度末
	薬剤部 (薬剤師)	①薬剤師によるTPN調製100%実施	R8年度末
		②薬剤師による処方および検査提案と代行入力 新たな代行入力プロトコルの作成	R8年度末
		③外来化学療法センターでの処方支援及び処方代行入力 前投薬の処方入力支援とパクリックの入力支援250件以上	R8年度末(継続して実施)
		④病棟薬剤師による定期処方入力支援の継続と件数増 定期処方代行入力1000件以上	R8年度末(継続して実施)
	放射線部 (放射線技師)	①NICUの新生児ポータブル撮影 状態が安定している患者のポータブル撮影	R8年度末(継続して実施)
		②緊急MRI撮影 バイタルが安定している患者の主治医同伴なしでの撮影	R8年度末(継続して実施)
		③核医学技師のRI薬剤の対応を増やす	R8年度末(一部改善して実施)
		④手術室の透視装置の操作および術後X線撮影 スキルアップ研修を実施	R8年度末(継続して実施)
		⑤造影MRIの造影剤注入	R8年度末(継続して実施)
	検査部 (臨床検査技師)	①生理学的検査時の口腔内からの喀痰等の吸引 異動者/新入者を新規教育する	R8年度末(一部改善して実施)
		②検査に係る薬剤の服用 担当者6名の維持(1名増)	R8年度末(一部改善して実施)
		③肝炎医療コーディネーター資格維持 資格取得者に係る更新研修会参加の推進 (認定更新期限R10.3.31)	R8年度末(一部改善して実施)
		④未治療患者の拾い上げの効率化及び専門外来への受診勧奨 ・未治療患者抽出手順の明文化 ・担当者5名の継続的教育	R8年度末(一部改善して実施)
		⑤糖尿病内科のCGM(持続グルコース)業務 ・福島県糖尿病療養指導士受験2名以上 ・合格者の実務教育	R8年度末(一部改善して実施)
		⑥造影超音波検査に係る静脈路確保及び超音波造影剤注入 ・静脈路確保担当4名(1名増) ・心臓造影剤注入担当7名(1名増)	R8年度末(一部改善して実施)
		⑦術中誘発電位業務 担当者7名(1名増) 臨時OPも対応(依頼全件対応)	R8年度末(一部改善して実施)
		⑧経食道心エコーのサポート 機器操作をサポートする技師の育成2名(1名増)	R8年度末(一部改善して実施)
		⑨神経伝導検査の実施 担当者6名(1名増)	R8年度末(一部改善して実施)
	内視鏡診療部 (臨床検査技師)	画像解析システムの操作および一次読影 ・カプセル内視鏡の一時読影(読影補助)を行う (年間約30件)	R8年度末(継続して実施)
	輸血・移植免疫部 (臨床検査技師)	①血液製剤の分割に関する操作 ・血液製剤の分割操作を行う(目標:全例)	R8年度末(継続して実施)
		②血液細胞(幹細胞等)の調製に関する操作 ・造血幹細胞移植に伴う末梢血造血幹細胞及び骨髄液の凍結操作 を実施(目標:全例) ・造血幹細胞移植に伴う成分採血装置を用いた骨髄液の濃縮操作 を実施(目標:全例) ・造血幹細胞移植後GVHDの治療に用いられるヒト体性幹細胞加工 製品テムセルHS注の解凍・調製操作を実施(目標:全例)	R8年度末(継続して実施)
		③輸血関連検査オーダーに係る代行入力 必要項目の代行入力	R8年度末(継続して実施)
	病理部 (臨床検査技師)	①細胞診検査所見の記載 細胞診検査全症例、細胞検査士による所見記載	R8年度末(継続して実施)
		②剖検業務の時間短縮と安全確保 ・解剖介助として2名を従事(目標4症例)	R8年度末(継続して実施)
	臨床工学センター (臨床工学技士)	①透析患者の透析時のバスキュラーアクセスへの穿刺(目標:全例) ・穿刺ができる技士の育成(1名)	R8年度末(継続して実施)
		②ICUの生命維持管理装置装着患者に係る夜勤帯の採血実施(目標:全例)	R8年度末(継続して実施)
		③人工呼吸器の設定変更に係る教育の実施	R8年度末(継続して実施)
④麻酔補助業務に係る教育の実施		R8年度末(継続して実施)	
リハビリテーション センター (理学療法士・作業療法士・言語聴覚士)	①リハビリテーションに関する各種書類の記載・説明・書類交付 (理学療法士・作業療法士・言語聴覚士)	R8年度末(継続して実施)	
	②作業療法を実施するにあたっての運動・感覚・高次脳機能・ADL などの評価	R8年度末(継続して実施)	
	③言語聴覚士による侵襲性を伴わない嚥下検査	R8年度末(継続して実施)	

項目	担当部署	具体的な取組内容	評価時期
1. 医師の負担軽減の取組			
(1) 医師との業務分担	リハビリテーションセンター (理学療法士・作業療法士・言語聴覚士)	④言語聴覚士による嚥下訓練・摂食嚥下両方における嚥下状態等に応じた食物形態等の評価	R8年度末 (継続して実施)
		⑤言語聴覚士による高次脳機能障害・失語症・言語発達障害・発達障害等の評価に必要な臨床心理・神経心理学検査種目の実施等	R8年度末 (継続して実施)
		⑥身体障害者手帳申請のための診断書を記載する際の身体計測	R8年度末 (継続して実施)
		⑦廃用症候群の添付文書記載のためのADL評価を全例行う	R8年度末 (継続して実施)
		⑧リハを行う患者のリハ前診察予約の代行を全例行う	R8年度末 (継続して実施)
	眼科 (視能訓練士)	治験データの入力や医師の補助	R8年度末 (継続して実施)
		眼鏡処方箋の作成補助	R8年度末 (継続して実施)
	患者サポートセンター	①EXチャートを用いた紹介患者に係る紹介元医療機関への返書続報作成支援 (全診療科) ・未作成患者に係る返書作成依頼 (目標: 初診後2ヶ月以内、退院後1ヶ月以内、終診後1ヶ月以内の作成を全診療科で100%達成)	R8年度末 (一部改善して実施)
②他医療機関の外来診療予約取得 (全診療科) の継続		R8年度末 (継続して実施)	
③逆紹介推進 ・診療科ごとに再診患者数、逆紹介患者数の目標値を提示 ・逆紹介の説明代行 (「ふたり主治医制」の周知含む) ・90日以上院外処方みの患者抽出 (令和8年5月、8月、11月、令和8年2月)		R8年度末 (一部改善して実施)	
(2) 交代制勤務の導入	病院管理課 病院人事係	①交代勤務制・複数主治医制の実施 ・救命救急センター及び集中治療部、NICUにおける交代勤務制の実施 ・複数主治医制の実施	R8年度末 (継続して実施)
(3) 人員確保	病院管理課 病院人事係	①教職員定数の確保 ・緊急性・必要性等を検討し、定数増を県へ要求する	R8年度末 (継続して実施)
		②育児・介護休業法第23条第1項、同条第3項又は同法第24条の規定による措置を活用した育児短時間勤務制度の実施	R8年度末 (継続して実施)
(4) 女性医師支援のさらなる充実	総務課 大学人事係 男女共同参画支援室	①復職支援 ・ダイバーシティ推進室において個別相談支援 (ライフイベントについての相談)	R8年度末 (継続して実施)
		②医師ロールモデルの周知 ・新たな事例を収集し、取りまとめた事例の周知	R8年度末 (継続して実施)
		③育児・介護支援 ・福島県立医科大学託児所「すぎのこ園」 ・病児病後児保育所「すくすく」 ・育児サポート (ベビーシッター) 助成事業 ・女性医師の産休等に伴う欠員補充の実施 ・ライフイベント (出産・育児・介護・看護等) により研究の確保が困難な教員に対して研究支援員を配置	R8年度末 (継続して実施)
(5) 勤務環境の改善	病院管理課 病院人事係	医師の働き方改革に対応するため、引き続き、医師の勤務時間を把握していくとともに、医師の労働時間短縮に向けて勤務環境の改善の取組を実施	R8年度末 (継続して実施)
(6) 医師事務作業補助者の導入	医事課 経営企画室	①全病棟配置	R8年度末 (継続して実施)
		②業務状況の確認及び医師の代行可能な業務内容に係る評価	R8年度末 (継続して実施)
		③代行入力業務の拡大 ・返書作成支援 (R9.3までに3診療科追加) ・入院前支援 (R9.3までに2診療科追加) ・外来業務支援 (R9.3までに2診療科追加) ・新患者に対する情報収集業務	R8年度末 (一部改善して実施)
		④医師事務作業補助体制加算1 15対1に向けた体制の継続	R8年度末 (一部改善して実施)
(7) 外来縮小の取組	患者サポートセンター	①事前予約制 ・病診連携での一括予約継続 ・県内医療機関へ事前予約方法説明パンフレットの送付 (令和8年7月) ・事前予約方法等の変更に伴うホームページの更新 (他部署からの依頼含め、当センター内決裁後速やかに修正実施)	R8年度末 (一部改善して実施)
2. 処遇の改善について			
(1) 処遇について	病院管理課 病院人事係 経営企画室	①救急勤務医手当の支給 ②分娩手当の支給 ③新生児担当医手当の支給 ④指導医手当の支給 ⑤臨床研修医への住宅手当の支給 ⑥診療力向上推進事業 1) 継続 2) 福島医大KAIZENアワードの継続。インセンティブの在り方について検討。 ⑦臨床研修医への赴任旅費の支給 ⑧病院助手等に係る休暇制度の充実 ⑨臨床研修医に係る休暇制度の充実 ⑩新設した手当及び増額した手当の支給継続 ・緊急呼出手当の附加額 (1日あたり1,760円) ・手術手当 (1件あたり10,000円) ・麻酔管理手当 (1日あたり5,000円) ・救急勤務医手当 (上記1) に麻酔科を追加 ⑪臨床研修医の土日勤務、夜勤を含んだ勤務を可能にし、臨床研修医に対し、夜勤手当の支給継続。 ⑫臨床研修医へ期末・勤勉手当を支給	R8年度末 (継続して実施)